

楽踊楽座 全国行脚 記録

行脚 No.68

日時	2013年11月24日
行脚先	最上稲荷
住所	岡山県岡山市北区高松(備中国)
行事名	

特徴

最上稲荷は龍王山にある神仏習合の霊地で、山上に霊地・八畳岩、山麓に壮大な本殿を構え、商いの神として多くの信仰を集めています。
天平勝宝4年(752年)に報恩大師が最上様のお姿を拝見し、自らお像を彫って祈願し、孝謙天皇の病氣平癒を叶えたことから始まったと言われています。
延暦4年(785年)、桓武天皇の希望により「勅願所龍王山神宮寺」として開山しますが、豊臣秀吉の備中高松城水攻めにより建物を失います。
慶長6年(1601年)、領主の花房公によって関東から招かれた日円聖人により「稲荷山妙教寺」として再興され、近隣に信仰が広まりました。
1250有余年の歴史を有する最上様信仰の総本山ということから「最上稲荷」「最上稲荷総本山」という呼称で親しまれています。

黒田官兵衛との関わり

豊臣秀吉・黒田官兵衛による高松城攻めの際、堂宇が焼失してしまいました。
しかし、ご本尊の最上様(最上位経王大菩薩)は本殿の裏山にある八畳岩の下に安置され、難を免れたそうです。
慶長6年(1601年)、領主の花房公によって関東から招かれた日円聖人により「稲荷山妙教寺」として再興されました。
境内にある一の丸は、備中高松城水攻めの際、豊臣方の陣地があった場所だと言われています。

記録

